

# 千葉市災害対策本部 本部員会議 17回目

## 1 日時

令和元年9月30日（月）9時00分～

## 2 議事内容

### （1）本部長指示事項

- ・ 被災証明の発行を急いでいかないといけない。財政が主体となって、人員の確保・対策にあたってほしい。
- ・ 都市部を中心に、既に制度設計に着手しているが、生活再建に関わるさまざまな制度設計も急いでもらいたい。被災者の中には、自分がなんの制度を活用できるのか分かっていない場合が多いので、被災者が制度を活用できるよう分かりやすくすること。
- ・ 今回の災害を教訓として、新たな防災対策を検討してもらいたい。市民に安心感を与えられるように。また、スピード感をもってやってほしい。

### （2）各部からの報告

#### ○事務局

- ・ 局所停電が全て解消した。ただし、再停電や台風18号の影響が考えられるので、引き続き余談を許さない状況。
- ・ 避難所の受入人数は、現在緑区で4人。
- ・ 被災証明の申請件数等は資料のとおり。

#### ○都市部

- ・ ボランティアによるブルーシート養生作業は昨日をもって終了。総件数199件。残数の62件については、民間事業者の斡旋をするため、引き続き被災者に連絡をとる。
- ・ 区に寄せられる住宅相談窓口については、チェーンズのSkype機能を使って住宅政策課で受付することとしたため、区への派遣職員は今月いっぱい終了する。
- ・ 被災者用住宅の受入は、市営住宅で現在21戸。県営住宅は19日から、国家公務員住宅、UR賃貸住宅については26日から、県が窓口となり受け付けている。

#### ○消防部

- ・ ブルーシート張りは、千葉県内で続いていると聞いている。県に千葉市からの応援を提案したが、概ね9月29日で要配慮者宅が終了し、残りは現体制のまま、10月3日までに完了するとの予定なので、待機中。詳細は情報が入り次第報告する。

#### ○建設部

- ・ 土のうの作成はしていない。在庫は約3,000袋残っている。
- ・ 倒木処理は、前回50箇所あると報告したが、現在は40箇所程度になっている。

- ・ 今後は傾いている樹木の処理を進めていく。

#### ○経済農政部

- ・ サイクル会館の東電作業員による宿泊の利用状況について金曜54人、土曜48人、日曜26人であった。
- ・ 千葉酪農から連絡があり、牛乳の製造を本日から開始しているとのこと。詳細は教育委員会からの報告によると思うが、学校用牛乳は明後日以降から提供可能になるのではとこのことを聞いている。

#### ○保健福祉部

- ・ 被災者のいきいきプラザの利用者数は、土曜2人、日曜7人であった。今週末をもって無料開放は終了とするが、今後も被災者が来れば受け付ける。
- ・ 社協のボランティアについて、29日までで90件、職員を含めた延べ398人で瓦の撤去・物置の片づけ等を実施した。

#### ○市民部

- ・ コミュニティセンターなどのシャワー開放については、いきいきプラザと同様に今週末で終了とし、以降は柔軟な対応とする予定。

#### ○環境部

- ・ 災害ごみの未処理件数について、金曜832件、土曜841件、日曜832件で横ばい。
- ・ 受付件数については、平日80件、土日20件程度と、だんだん減ってきている。

#### ○緑区

- ・ 今後はり災証明の発行について財政と協力して迅速に進めていきたい。
- ・ り災証明の提出状況は、総数で1,034件あるが、地域で見ると下大和田7件、上大和田4件と少ないので、まだ提出されていない人もいるのではと考えられる。  
そうした地域への周知とともに、この土日の申請状況や、今日の申請状況を踏まえて、今後の受付体制について検討していく。

#### (3) 今後の予定

- ・ 次回本部員会議は10月3日(木)9時～